



令和5年度 阿見町立舟島小学校 グランドデザイン

校訓 やさしい子 たくましい子 かしこい子

本県教育の目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力しあう心を育てる

めざす児童像

- ・自ら考え、進んで学ぶ子
- ・役割を自覚し、進んで働く子
- ・目標をもって、体をきたえる子
- ・自分の思いを表現し、相手のことを理解できるコミュニケーション力のある子
- ・思いやりの心を持ち、互いに認め合い協力する子

学校の教育目標

仲間との絆を深め、地域と共に歩む、自立した児童の育成

学校経営の理念

- 一人一人を認め・生かし・仲間と共に伸ばしていく、子どもが主役の学校づくり
- 教職員一人一人がよさや能力を発揮し、組織として前進する学校づくり
- 地域のよさを十分に生かし、保護者・地域と共に歩む、開かれた学校づくり

組織目標

自ら課題を発見し、解決する過程を通して、凝集性を高め、支え合い、共生する児童の育成を目指す

児童がハレの場で、教職員のしかけにより、児童がじりつに向かう学校づくり

阿見町の教育目標

- ・未来を拓き生きる力を育てる教育の推進
- ・豊かな心と健やかな体の育成
- ・社会全体での教育力の向上
- ・安心、快適で質の高い教育環境の創造
- 「現在をみる 未来をつくる」

めざす教師像

- ・使命感と誇りをもち、常に学び続ける教師
- ・指導力と実践力のある教師
- ・人間性豊かで明るく、コミュニケーション力の高い教師

研究テーマ 子どもたちの全員参加を目指した「わかる・できる」授業づくり～ユニバーサルデザインの視点をベースにした指導の工夫～

【かしこさ】プロジェクト

研究主任・特支CN・情報主任・教育課程

★ミッション 確かな学力を育む

- 1 「阿見町の授業スタンダード」の充実 (課題提示の工夫、学習内容の振り返り・適用練習時間の定着)
- 2 UDの視点による学習の個性化 (授業・教室環境等UDの構造化)
- 3 ICT機器の有効活用 (視覚化 焦点化 共有化)
- 4 特別支援教育の充実 (特別支援教育CNを核とした校内支援体制の確立)

☆評価

- ①児童アンケート「授業に積極的に取り組んでいる」(85%)
- ②児童アンケート「授業がわかる」(88%)
- ③教員評価「授業における活用」(毎日1回以上)
- ④教員評価「教育支援委員会の計画的な実施」(年4回) 「個別の指導計画・教育支援計画の活用」(保護者連携)

【たくましさ】プロジェクト

保健主事・体育主任・食育給食責任者・生活総合主任

★ミッション 健やかな体を育む

- 1 命を大切にし、より良い自分をつくる指導の充実 (自己管理能力の育成)
- 2 自ら身を守る力の育成 (自己防衛能力の育成)
- 3 外遊びの奨励 (課題解決型のクラス遊び・業間体育の実施)
- 4 目標をもち基礎体力を高める (個別伸長型プログラムの実施)

☆評価

- ①児童アンケート「友達にやさしく接している」(90%)
- ②教員評価 「各種安全教室(薬物・交通安全・情報)・避難訓練の実施」(学期1回以上) 自己生活管理カードの活用
- ③児童アンケート「外で遊ぶことがすき」(80%)
- ④体力テストA+B(50%)

じりつ

【やさしさ】プロジェクト

生徒指導主事・教育相談担当・学級経営・人権福祉主任

★ミッション 豊かな心を育む

- 1 所属感・自己有用感が感じられる学級経営の充実 (コグトレの実施・いじめアンケートの丁寧な対応・不登校児童への支援)
- 2 係活動・委員会活動における自治的活動の推進 (クラス会議・学級会活動等における評価)
- 3 あいさつの励行 (明るく・いつでも・先に・続ける)
- 4 阿見町を知り、考え、行動する主権者教育の工夫 (児童の自治的活動を推進する特別活動の充実)

☆評価

- ①児童アンケート「学校が楽しい」(95%)
- ②計画的な話し合い活動の実施(月1回)
- ③児童アンケート「あいさつができる」(88%)
- ④教員評価「ふなしますたいるの実施」(生活・総合での実施)

「チーム舟島小」プロジェクト

スクールコミュニティー

★ミッション:舟島小応援団と共に歩む安心・安全で信頼される学校づくり

教職員

- 1 プロジェクトチームの機能を生かした校内業務の工夫(PDCAサイクルを機能させたプロジェクト会議の定期開催)
- 2 ICTの活用による校務の効率化など心身の健康を保つ職場環境(定時退勤日、時間外労働の可視化)
- 3 3ない運動+2(飲酒運転・体罰・ハラスメント・個人情報・金銭)を徹底するコンプライアンス推進委員によるボトムアップ型研修(毎月)
- 4 様々な状況を想定した日々の危機管理意識の高揚(休み時間の見守り・下校指導(毎日)、安全点検(毎月)、各種研修)

☆評価

- ①プロジェクト会議による業務査定と業務改善の補填(年5回)
- ②アプリ等の活用による業務の効率化(時間外勤務月45時間100%・各種通信等時間50%以下)
- ③学校事故「ゼロ」
- ④健康保健センター利用率(10%以下)・安全点検修繕(即日対応)

保護者・地域

- 1 地域人材・各種団体等との情報・行動連携との連携による「学校運営機構」の確立

☆評価 ① 組織結成・活動計画の完成(令和6年度完全実施)